

2 施設での活動

2.1 活動の計画と安全

2.1.1 活動の計画

(1) 作成手順

①対象者・人数・日程を決める。

年齢や構成メンバーの関係により、ねらい(目的)も変わります。活動できる時間も確認してください。

②ねらい(目的)を明確にする。

活動を通して学んでほしいことや感じてほしいことを明確にしてください。活動そのものは手段です。

③ねらい(目的)に沿った活動を決める。

当施設の活動プログラムは 2.4 をご参照ください。団体独自の活動を実施することも可能です。

④研修施設や備品を確認する。

施設の収容人数や設備・備品などを確認してください。当施設で購入・貸出できる備品もあります。

⑤プログラムの試行・検証・修正を行う。

下見や実地踏査などで、代表者の方も体験すると、ねらい(目的)の達成やリスクマネジメントの視点がより明確になります。

(2) ねらい(目的)に沿った活動例

- ・仲間作りや協働 → 野外炊事、オリエンテーリング、夜須高原仲間づくりプログラム(YTC)など
- ・達成感や感動 → 登山、キャンプファイヤー、キャンドルファイヤーなど
- ・自然とのふれあい → 里地里山ウォークラリー、ナイトハイキング、川遊びなど
- ・思い出づくり → 各種創作活動など

(3) 留意点

・時間にゆとりのあるプログラムを計画してください。

午前・午後・夜の時間帯でそれぞれ1つの活動を目安に計画するのが適当です。

・体力的にハードなものと創作活動などのソフトなものを組み合わせることも効果的です。

(例:午前:オリエンテーリング 午後:すべすべ板の表札づくり 夜:キャンプファイヤー)

・野外活動は天候に左右されるので、雨天時(荒天)の代替プログラムを計画してください。

2.1.2 安全管理

体験活動は、常に危険と隣り合わせの状況で展開されます。

以下のチェックポイントに留意しながら、万全の安全対策のもと活動を展開してください。

(1) 安全管理上の留意点

①活動計画作成時

- ・対象者の経験や発達段階に応じたゆとりのあるプログラムか
- ・季節や時間を考慮した計画か
- ・実地踏査を行ったか
- ・指導者や引率者の役割分担が明確か
- ・指導者自身が、事故やけがが起こるポイントを理解しているか

②活動を始める前

- ・参加者の健康状態(検温等)をしっかりと把握したか ・装備や準備が万全か
- ・気象情報を確認したか ・緊急時の連絡手段を携帯しているか
- ・ファーストエイド(救急用品)を持参しているか
- ・危険な生物(マムシ、スズメバチ、マダニなど)などの知識を事前に確認し、指導を行ったか

③活動中

- ・参加者の体調や様子に目を配り、指導をしているか ・活動用具の使用方法に誤りはないか
- ・事故やけがが起きそうな場面で適切な指導や声掛けをしているか(頭上からの枯れ枝落下など)

④活動終了時

- ・参加者全員の安全確認を行ったか ・活動が終了したことを事務室に報告したか

(2) 安全基準

当施設では、安心安全な自然体験活動を提供するため、以下の基準で活動の中止をお願いすることがあります。

●自然環境に関する基準

ア)活動の実施に影響のある気象状況

- ・視界(目視で)10m以下 ・雷感知計器(サンダーメーター)レベル2以上

イ)警報・注意報等の発令の有無による判断基準

- ・警報:暴風、大雨警報(土砂災害、浸水害)、林野火災 ・注意報:雷、濃霧等

ウ)地理的条件や気象状況の変化による判断基準

- ・局地的な強風が吹いている場合 ・台風の接近や暴風が予想される場合
- ・濃霧が予想される場合 ・落雷が予想される場合

※川遊び・溪流遊び実施時は以下の基準も追加

- ・降水量3mm/時以上 ・気温15度以下 ・局地的な大雨の場合
- ・第3炊飯場付近の川で、第3炊飯場から向かい側の岸にある構造物に示した印より水位が多い場合

●活動方法に関する基準

- ・活動に必要な引率者の人数が足りない場合
- ・活動プログラムの計画内容と活動実施内容が乖離し、職員もしくは利用団体の状況把握が困難であると判断した場合

2.1.3 食物アレルギー対応

当施設の食堂業務はコンパスグループ・ジャパン株式会社に運営委託しています。食物アレルギー対応についても同社の定める方法で行いますので、以下をご確認いただきますようお願いいたします。

食堂では、食物アレルギーをお持ちの方についても、対応可能な範囲でお食事の提供をいたしますが、「安全性」を最優先とするため、下記の内容について、ご理解とご協力をお願いいたします。

(1) アレルギー対応に係る必要書類の提出について

ご提供するお食事に配慮が必要な場合は、「食物アレルギー事前確認表」をご利用日の3週間前までにご提出ください。

アレルギー対応については、「学校生活管理指導票」に基づいて、対応をいたします。

申請頂くアレルギー情報が、学校生活管理指導票の内容と一致しているか、ご確認の上、弊社指定の「食物アレルギー事前確認票」のご提出をお願いいたします。

(2) 食堂での対応について

「安全性」を最優先とするため、食堂では以下の内容で、お食事をご提供しております。

1) 食堂で使用しない食材について

食堂の食事では、以下のアレルギーを含む食材を使用しません。

- ① 特定原材料のうち、「えび・かに・そば・落花生・くるみ」
- ② 特定原材料に準ずる品目のうち、「ごま」 ※ごま油は除く

2) コンタミネーションについて

厨房では調理器具・食器・洗浄機器、揚げ油など、全てのメニューにおいて共通のものを使用しており、アレルギー物質のコンタミネーションは避けられません。またバイキング形式の場合、提供レーンにて隣の料理が混入する場合がございます。

3) 対応方法について

食物アレルギーをお持ちの方については、ウェブサイトに掲載しております「アレルギー表」をご確認の上、対応方法を以下からご選択頂き、団体様ごとに「食物アレルギー事前確認表」のご提出をお願いいたします。

- (A) 自己除去
- (B) 持ち込み対応
- (C) 代替食対応

- ・食堂では調理・提供時のコンタミネーションの可能性がございます。
- ごく微量の摂取にて、アナフィラキシーショック等、重篤な症状を起こす可能性のある方は、万が一の事態を考慮し、(B)の持ち込み対応を頂きますよう、お願いいたします。
- 上記の場合は、「食物アレルギー事前確認表」をご提出の上、事前にご相談ください。
- ・施設は自然の中に位置しており、緊急受診が必要な場合も、医療機関まで、あるいは救急車の到着までに、相応の時間を要します。
- ・学校給食と同様の設備・人員体制ではないため、給食と同様の対応を行うことは難しく、安全性を最優先とし、対応可能な範囲にてお食事のご提供をさせていただきます。

(A) 自己除去

- ・アレルギー表をご確認頂き、対象者ご自身でお料理の選択をお願いいたします。
- ・食材の変更が生じる可能性がございます。必ず、最新のアレルギー表をご確認ください。

(B) 持ち込み対応

- ・当食堂では、冷凍庫・冷蔵庫・電子レンジ等をご利用頂けます。
- ・食器についても、食堂のものをご利用頂けます。
- ご利用頂く備品、及び食器においては、洗浄・保管を含め、通常食、及び他のご利用者様と共用のため、コンタミネーションについては防ぐことができません。
- ・厨房での調理は、スタッフによる、冷凍・冷蔵庫保存、レンジ温めのための対応となります。
- 安全性確保のため、ご了承ください。
- ・お持ち込み品については、毎食ごと袋に入れ、【団体名・対象者のお名前・日付・朝・昼・夕】をマジックペンでご記入ください。
- ・お持ち込みの方法については、「当日持ち込み」のみのご利用となります。

・当日持ち込みの場合、入所受付時に、持ち込み品と食物アレルギー対応受け渡し確認表の提出をお願いします

※食物アレルギー対応受け渡し確認表の詳細は、個別にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

(C)代替食対応

・食堂では、特定原材料8品目(小麦・卵・乳・そば・落花生(ピーナッツ)・えび・かに・くるみ)を含まない「8大アレルゲン不使用メニュー」をご用意しております。

詳細は、個別にお問い合わせを頂きますよう、お願いいたします。

(3) 野外炊飯・弁当の対応について

野外炊飯、弁当については、ウェブサイト掲載のアレルゲン・原材料表をご確認の上、

(A)自己除去(通常メニューから選択)

(B)持ち込み対応

(C)代替食対応(弁当のみ)

のいずれでのご対応をお願いしております。

※野外炊飯において(A)・(B)の選択が難しい場合は個別にご相談ください。

(4) ご利用日までの流れについて

上記をお読み頂き、以下のご対応をお願いいたします。

食堂ご利用日3週間前までに

・「食物アレルギー対応について」(本項 1～3)

・アレルゲン表(食堂・弁当・野外炊飯)

上記内容をご確認のうえ、対応方法をご選択いただき「食物アレルギー事前確認表」を提出する。

↓

利用当日

(A)自己除去の場合

当日は、アレルゲン表示をご確認の上、ご自身でお料理の選択をお願いいたします。

(B)持ち込み

持ち込み方法・持ち込み品を食堂にてお預かりいたします。

お食事の際は、食堂受け渡し口より、お預かりした食品をお渡しいたします。

(C)代替食

当日は、食堂受け渡し口にて、代替食メニューをお渡しいたします。

必ず、食堂のアレルギー対応食受け渡し口までお越し頂き、スタッフまでお声がけください。

アレルギー対応に関する問い合わせ先

コンパスグループ・ジャパン株式会社 夜須高原店

TEL:0946-42-5992

メールアドレス:35512@compass-jpn.com

2.1.4 近隣医療機関等所在地

(1) 医療機関

主な診療科	医療機関名	急患	小児	住所	電話番号	時間(分)
総合	飯塚病院	○	○	福岡県飯塚市 芳雄町 3-83	0948 -22-3800	40
総合	飯塚市立病院	-	○	福岡県飯塚市 弁分 633-1	0948 -22-2980	35
総合	済生会 飯塚嘉穂病院	-	-	福岡県飯塚市 太郎丸 265	0948 -22-3740	30
総合	福岡大学筑紫病院	○	○	福岡県筑紫野市 俗明院 1-1-1	092 -921-1011	35
小児科	中嶋医院	○	○	福岡県太宰府市 幸府 3-5-7	092 -922-4019	35
整形外科 内科	藤井整形外科内科医院	-	-	福岡県朝倉郡筑前町 二 136-1	092 -926-1417	30
耳鼻咽喉科	富田耳鼻咽喉科医院	-	-	福岡県朝倉市 甘木 1971-2	0946 -22-2415	30
整形外科 内科 外科 脳神経外科	甘木中央病院	○	-	福岡県朝倉市 甘木 667	0946 -22-5550	35
総合	朝倉医師会病院	○	○	福岡県朝倉市 来春 422-1	0946 -23-0077	35
歯科	中村歯科	-	○	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 355-2	0946 -42-4676	25
歯科	松原歯科	-	○	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 191-2	0946 -42-5532	25
整形外科	しのくま整形外科 クリニック	-	-	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 141-1	0946 -42-6021	20
小児科	ふくまこどもクリニック	-	○	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 141-5	0946 -42-8055	20
内科 循環器科	ながた内科・循環器 クリニック	-	-	福岡県朝倉郡筑前町 篠隈 139-1	0946 -42-8600	20

※地域医療支援病院等に指定されている場合、紹介状が無い場合に「特定療養費」が発生する可能性があります。事前に確認をお願いします。

(2) 各種相談・短縮ダイヤル

名称	備考
小児救急医療電話相談 #8000	※ 子どもの救急相談窓口 092-661-0771 (福岡地域)
救急医療電話相談 #7119 → 2	※ 一般の成人や子どもの救急相談も可能 092-471-0099 → 2
医療機関の案内 #7119 → 1	※ 休日・夜間に受診可能な最寄りの医療機関などの案内窓口 092-471-0099 → 1

(3) 公共機関

名称	住所	電話番号
筑前町役場	福岡県朝倉郡筑前町篠隈373	0946-42-3111
朝倉警察署 夜須交番	福岡県朝倉郡筑前町東小田1681	0946-42-2110
甘木・朝倉消防署西部分署	福岡県朝倉郡筑前町下高場3599-3	0946-42-4711

2.2 活動・生活に必要な持ち物

以下に記載しているものは、施設での活動や生活に際して最低限必要となる持ち物です。団体または個人において個別に必要となるものは、各団体において検討・準備してください。

活動プログラム実施の際には、施設で貸し出すことができるものと団体・個人が持参しなくてはならないものがあります。個別の活動プログラム資料をご確認ください。

(1) 主に活動中に必要となるもの

用具	準備する人
☐ 救急用品	団体
☐ 活動プログラム実施に必要な用具	団体または個人
☐ 雨具	個人
☐ 懐中電灯	個人
☐ 体育館用シューズ(プレイホール利用時)	個人

(2) 主に生活場面で必要となるもの

用具	準備する人
☐ 洗面用具(歯ブラシ、フェイスタオル等)	団体
☐ 入浴用具(シャンプー、ボディソープ、バスタオル等)	個人
☐ 衛生用品(ティッシュ、ゴミ袋等)	個人

2.3 貸出可能な用具

事務室			教材室		
ポータブルアンプ(マイク2本付)	3	台	カッターマット(大)	85	個
プレイホール用マイク	1	本	カッターマット(小)	147	個
CDラジカセ	2	台	グルーガン ※芯は持参ください	23	個
プロジェクタ(HDMI ケーブル付)	2	台	コテ	8	個
ドラムコード	8	台	一穴パンチ	23	個
延長コード	8	本	竹ピンセット	11	個
ホワイトボードマーカーセット (黒・赤・青・緑・イレイサー)	10	組	トースター ※プラホビー用	5	台
チョークセット	7	組	ラジオペンチ	20	個
黒板消し	5	個	30cm ものさし	57	個
クリップボード	200	個	プラホビー用下絵	2	個
オリエンテーリングコンパス	199	個	キャンドルのつどい用トーチ (1団体 2 本まで)	10	本
サンダーメーター	1	個	カッター	139	個
キャンプファイヤー用 CD	10	枚	はさみ	123	個
ビブス(6色・各30枚)	180	枚	竹引きのこ	6	本
バケツ	3	個	切り出しナイフ(右)	137	個
卓球ラケット	8	本	切り出しナイフ(左)	19	個
卓球ボール(ピンポン玉)	6	個	きり	131	本
卓球ネット	2	組	なた	38	本
バドミントンラケット	9	本	星座早見表	105	個
バドミントンシャトル	10	個			

スポーツ用具庫		
綱引き用綱	2	巻
大縄	22	本
キンボール	2	個
ユニカール	2	組
ビーンボウリング	2	組
シャッフルボード	4	組
インディアカ	20	個
サッカーゴール	1	組
ペタンク	10	組
グラウンド・ゴルフ	3	組
スポーツ雪合戦	1	組
ピロポロ	1	組
アジャタ用ボール(赤・白)	1	組
ポッチャ	14	組
モルック	6	組
カラーコーン(桃)	9	個
カラーコーン(青)	11	個
カラーコーン(黄)	10	個
カラーコーン(赤)	2	個
ミニコーン	11	個
プレイホール		
バレーボール支柱(2本組)	2	組
バドミントン支柱(2本組)	6	組
アジャタゴール(2本組)	1	組
各種ボール	20	個
得点版	1	台
エクспанションハウス倉庫		
シュラフ(赤)	47	個
シュラフ(青緑)	65	個
シュラフカバー	60	個
2～3人用テント(mont-bell)	12	個
4～6人用テント(Coleman)	12	個
4～6人用テント(snow peak)	5	個
8～10人用テント(Coleman)	2	個
グランドシート	44	枚
銀マット	100	枚
ハンマー	10	本
ペグセット(14本組)	40	組
電池式ランタン(Led:5、V8:12)	17	個
焚火台(sp:7、ヘックス:9)	16	台
ダッチオーブン	14	個
ライフジャケット(小)	40	個
ライフジャケット(大)	20	個
ピザピール	14	個
ピザカッター	32	個
ピザ板	25	枚
ピザ用皿(銀の丸トレイ)	65	枚
計量カップ(500mL)	68	個
レーザー温度計	2	個

BBQ コンロ(高:7、低:8)	15	台
焼き網	22	枚
トング(長:36、短:9)	45	個
鉄フライパン(大:22、小:35)	57	個
ワイヤーブラシ(内たわし:87)	207	個
ラジオペンチ	15	個
きり	22	本
のこぎり	27	本
のこぎり台(2個組)	33	組

掃除用具倉庫

電子キーボード	1	台
カプラ	2	個
杵	5	個
臼	5	個

第2・4・5炊飯場

食器・調理器具セット (なべ・ライスクッカー・ざる・ボウル・しゃもじ・ おたま・水切りかご各1、カッティングシート2、 大皿・小皿・おわん・カップ・スプーン各6)	16	組
包丁・たわしセット	16	組
なた・なた台	16	組
ピザがま用鉄板・耐熱レンガ	8	組

第3炊飯場

食器・調理器具セット (なべ・ライスクッカー・ざる・ボウル・しゃもじ・ おたま・水切りかご各1、カッティングシート2、 大皿・小皿・おわん・カップ・スプーン各6)	18	組
包丁・たわしセット	18	組
なた・なた台	18	組
ピザがま用鉄板・耐熱レンガ	8	組

第1キャンプ場・炊飯場

食器・調理器具セット (なべ・ライスクッカー・ざる・ボウル・しゃもじ・ おたま・水切りかご各1、カッティングシート2、 大皿・小皿・おわん・カップ・スプーン各6)	12	組
包丁・たわしセット	12	組
なた・なた台	12	組

乗車小屋

草スキー用そり	55	台
ヘルメット(小)	48	個
ヘルメット(大)	77	個
肘あて(小)	29	個
肘あて(大)	72	個
膝あて(小)	51	個
膝あて(大)	201	個

その他

キャンドルのつどい用燭台・防災シート (プレイホール、L3、L4、L5、L7に各1)	5	組
---	---	---

※用具の品目・数量は変動する可能性があります。
※原則、施設内での使用のための貸出に限ります。

2.4 活動プログラム

活動名		屋外	屋内	指導方法	最大人数	所要時間
夜須高原仲間づくりプログラム(YTC)		○	○	直接	40 人	3 時間
野外活動	登山・ハイキング	○		間接	—	1～6 時間
	スコアオリエンテーリング	○		説明	300 人	2～4 時間
	ポイントオリエンテーリング	○		説明	150 人	2～4 時間
	ウォークラリー	○		説明	150 人	1～4 時間
	フィールドビンゴ	○		説明	150 人	1～4 時間
	夜須アドベンチャーウォーク	○		説明	150 人	3～4 時間
	五玉(いつたま)神社の謎を解け！	○		説明	150 人	2～3時間
	里地里山ウォークラリー	○		説明	150 人	2 時間
	ひるもりビンゴ	○		間接	150 人	30 分～1 時間
	館内ウォークラリー		○	説明	150 人	1 時間
	館内ビンゴ		○	説明	150 人	1 時間 30 分
	溪流遊び	○		自主	60 人	1～2時間
	自然観察	○		自主	—	1～3時間
レク系	ニュースポーツ		○	自主	種目による	1～3時間
	草スキー	○		説明	50 人	1～2時間
	川遊び	○		自主	60 人	1～2時間
作って楽しむ	野外炊飯	○	○	説明	300 人	4～5時間
	焼き板の表札	○	○	間接	制限なし	1～2時間
	すべすべ板の表札	○	○	間接	制限なし	1～2時間
	すべすべコースター	○	○	説明	200 人	2 時間
	プラホビー	○	○	自主	制限なし	2 時間
	竹とんぼ	○	○	自主	制限なし	3 時間
	杉皿アート	○	○	自主	制限なし	30 分～1 時間
夜の活動	キャンプファイヤー	○		自主	200 人	1～3時間
	キャンドルのつどい		○	自主	300 人	1～3時間
	ナイトハイキング	○		自主	—	1～2時間
	天体観察	○		直接	40 人	1 時間
	星空観察	○		自主	150人	1～2時間
	テント泊	○		説明/自主	108人	—

※指導方法の区分

- (1)直接・・・自然の家職員が活動のはじめから終わりまで参加者に直接指導します。
- (2)説明・・・自然の家職員が活動開始時に活動方法を参加者に直接説明します。
- (3)間接・・・自然の家は活動の進め方の資料等を提供します。活動の進行は団体引率者が行います。
- (4)自主・・・活動は団体のみで行います。用具は自然の家が貸し出すことができるものもあります。